

主な人権課題 「人身取引」

先月のこのコーナーで法務省人権擁護局が示している「主な人権課題」を紹介しました。全部で17の課題がありましたが、その中で比較的新しく加えられた課題に「人身取引」ト「トラフィックング」があります。

人身取引という言葉のイメージといえば、昔の貧しい家の子どもが売られていくというような、いわゆる「人買い」などのことが思い浮かぶのではないのでしょうか。現代のことではなく、過去のことだと思われやすい傾向があるようです。

現在、大きな社会問題となっている人身取引とは、暴力・脅迫・誘拐・詐欺などを用いて心身の自由を奪い、性的搾取・強制労働・奴隷化など、個人の人権を甚だしく侵害する行為のことです。もちろん、重大な犯罪であることは言うまでもありません。被害にあうのは子ども（18才未満）や女性が圧倒的に多く、日本では外国人の被害者も多いのが現状です。平成29年度に日本国内で認知された人身取引事犯の被害者数は46

名で、その内約60%が日本人でした。認知された件数などで、実数はさらに多いと思われます。

ここで、実例をいくつか紹介します。いずれも巧妙な手段で被害者を陥れたものです。①ネット上でモデル募集を装ったサイトを開設し、応募者にアダルトビデオの撮影を強要し、その動画を販売する。

②少年を住み込みで働かせ、失敗や遅刻を理由に賃金を搾取し、暴行や脅迫を加え辞めさせない。

③日本で働けば稼げるなどと甘い言葉で外国人女性を来日させ、性的搾取をする。

これに対し平成16年、政府によって人身取引の撲滅・防止・被害者の保護を目的とした「人身取引対策行動計画」が取りまとめられ、翌17年には刑法の一部が改正されました。また、平成21年と平成26年に「人身取引対策行動計画」が見直され、さらに、平成27年からは「人身取引対策推進会議」が毎年開催されています。

こうした取り組みにもかかわらず、人の生命や尊厳、自由と財産を奪う人身取引は、いまだ根絶には至っていないのが現状です。

このような人権課題に少しでも興味を持ち、理解を深めたいこうではありませんか。（参考：政府広報リーフレット）

ご案内

【第三回人権教育学級】

【日時】10月11日(金)午後2時

【講師】松村 智広さん

三重県伊賀市生まれ。

三重県伊賀市を中心に 中学校教員として勤務し、在職中に県人権センター調査研究員、反差別・人権研究所みえ主任研究員、県教委人権教育課長を歴任。大山田中学校長を最後に退職。現在は「ライトピアおおやまだ」で伊賀市人権教育推進員として勤務する傍ら、「みえ人権教育・啓発研究会」代表も務めている。

【演題】(分野) 同和問題

市人権推進課(教育庁舎1階)

☎ 32・2122

FAX 33・3525

Mail:jinkensuisin@city.komatsushima-i.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (358) 松並敦子・選

満員の視線を浴びて舞う日舞潮来あやめの曲はむらさき

田浦町 太田カツミ

にんじんはやさしくなれるピーマンはチカラをくれる野菜に喝采

横須町 山崎 泰子

曇天の波止場に独り釣りをする老いたる人は修行僧に似て

田浦町 西 教明

米寿祝に贈りてくれし胡蝶蘭親族そろい宴盛り上がる

赤石町 田原トシ子

平成の退位のお言葉「松の間」は叙熱の夫と畏まりし部屋

江田町 深田 伴子

五月晴れ若葉の香り車中まで厚着のわれも薄着となりて

柳瀬町 松下 玉枝

青空が毎日続き花畑雨がほしいと叫んでいるよ

坂野町 橋本千代乃

高齢化進みて空き家の並ぶ村軒下のスズメ春を轉る

横須町 三宅 敏恵

母の日の去年の蘭が花芽もちいま花盛り匂いさやけし

横須町 福島 夢栄

バイパスを急ぎ急ぎぬ旧道の小坂奇石の碑はひっそりと

立江町 湯浅かや子